

上級システムアドミニストレータ連絡会
シスアドの扉を開く！京都研修会2007
～試験対策、シスアドの現場、そしてキャリアパス～

上級システムアドミニストレータ試験の概要

JSDG正会員
小山 俊一
2007/07/29

この20分間で、お伝えしたいこと。

1. まず最初に、。
2. そもそも上級シスアド試験とは？
3. 上級シスアド試験の出題範囲は？
4. そんな上級シスアドに受かった人って？
5. 自身の実力とは？
6. 上級シスアドをめざす根源的理由を探りましょう。
7. おまけ

1. まず最初に、。

中国の有名な兵法書にこんな言葉があります。

彼を知り己を知らば、百戦して危うからず。

彼を知らずして己を知らば、一勝一負す。

彼を知らずして己を知らざれば、戦うごとに必ず危うし。

(『孫子』謀攻編第三)

上級シスアド試験に置きかえると・・・

さらに深く掘り下げると・・・

彼 = 上級シスアド試験

上級シスアドそのもの

己 = 自身の実力

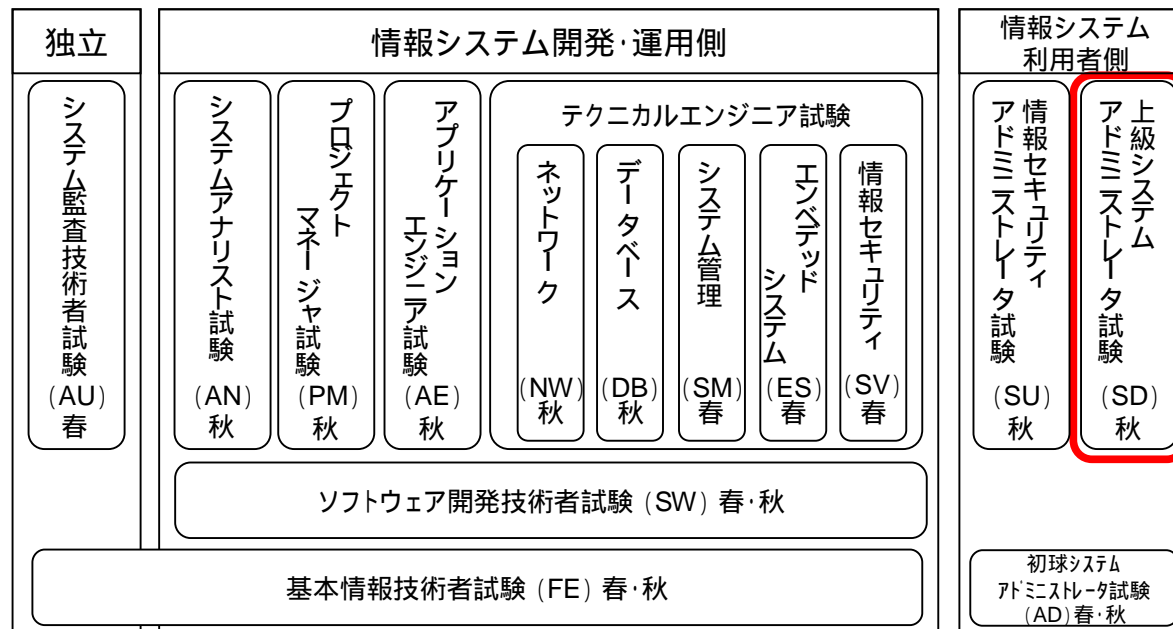
上級シスアドをめざす根源的理由

2. そもそも上級シスアド試験とは？

(1) 情報処理技術者試験とは？

経済産業省が、「情報処理の促進に関する法律」に基づき認定している国家試験です。

(2) 上級シスアドの位置付けは？



情報システムの利用者側において情報技術の有効活用を図るための知識・技能を問う試験

(3) 対象者像

利用者側において、業務の中でどのように情報技術を活用すべきかについて判断するために必要な知識・技能をもち、情報化リーダーとして業務改革・改善を推進する者

独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターHPより引用。以降、同様。

2. そもそも上級シスアド試験とは？

(4) 上級シスアドの役割と業務

企業・組織のビジネス活動、業務活動の中心的役割を果たす立場において、業務改善と情報化に関するPDCAサイクルを主導する。

すなわち、経営戦略及びビジネス戦略を理解したうえで、業務システム及び情報システムの面で、次のような役割を果たす。

< 業務システム >

業務モデル、業務プロセス変革の企画に参画するとともに実施計画を立案し、実施環境を整える。
新しい業務モデル、業務プロセスの具体的な実施内容を作成し、改革の活動を指導する。
新しい活動の効果を評価し、更なる改善にフィードバックさせる。

< 情報システム >

業務モデル変革に適合する情報システム化のRFP作成、ITベンダへの提示・評価作業に参画し、経営層を支援する。

システム開発の進捗状況と完成度を把握し、受入れ、運用準備を行うとともに、稼動開始に必要な各種事項を決定、指示する。

日常業務の一環として、システムの運用状況・利用状況を継続的に把握し、システム化の達成度を評価して改善要求につなげる。

経営層の行うビジネス戦略、情報戦略の立案・評価に参画し、支援する。

2. そもそも上級シスアド試験とは？

(5) 上級シスアドに期待する技術水準

情報化戦略が経営戦略を実現させる大きな要素となっているなか、上級システムアドミニストレータは、業務遂行側の立場で、情報技術を生かした業務革新の提案、必要となる情報システムの実現、新システムの活用・評価の担い手として、次の幅広い知識・経験・実践能力が要求される。

経営、マネジメント、情報技術に関する全般的な知識をもち、ビジネスの動向、情報技術の動向を正しく捉えられる。

電子商取引などの情報技術を活用した最新経営技術動向、情報技術動向を理解し、業務モデル変革の企画立案に参画できる。

業務モデルの策定、理解に当たって、幅広い視点、視野をもち、全体としての最適ソリューションを考えられる。情報システムの提供者側との検討の場において、ビジネス、業務、システムを抽象化し、適切な機能モデルを作成できる。

自企業・組織の現状や業務を、他社状況、市場状況などを踏まえて正しく分析し、問題点を明確にできる。

問題点を整理し、優先順位を考慮した解決策を策定できる。

解決策に関する費用対効果分析、リスク分析を行い、その結果を経営層に説明できる。

解決策に基づく業務、組織、システムの設計を行い、実現させる。

解決策に対する効果目標及び評価基準を設定し、達成度を評価できる。

計画に対する管理、必要に応じての適切な対応策をとることができる。

システムの活用においては、イントラネットを活用した情報発信の促進、情報の質的向上を図るなど、情報技術を活用した業務の改革・改善を考えられる。

2. そもそも上級シスアド試験とは？

(6) 上級シスアドの試験形式と試験時間

午前	午後	午後
9:30 ~ 11:10 (100分)	12:10 ~ 13:40 (90分)	14:10 ~ 16:10 (120分)
多肢選択式(四肢択一) 55 問出題して 55 問解答	記述式 4 問出題して 3 問解答	論述式(小論文) 3 問出題して 1 問解答

(7) 試験の手続日程

願書の受付	郵便局窓口受付 7月17日(火) ~ 8月20日(月)
	インターネット受付 7月17日(火)10:00 ~ 8月28日(火)20:00
試験実施日	2007年10月21日(日)
受験料	5,100円

3. 上級シスアド試験の出題範囲は？

(1) 午前試験

コンピュータシステム < 技術レベル: 中程度 >

システムの開発と運用 < 重点分野、技術レベル: 最も高度 >

セキュリティと標準化 < 技術レベル: 中程度 >

情報化と経営 < 重点分野、技術レベル: 最も高度 >

コンピュータシステム	1. ハードウェア
	2. 基本ソフトウェア
	3. システムの構成と方式
	4. システム応用
システムの開発と運用	1. システムの開発
	2. システムの運用と保守
セキュリティと標準化	1. セキュリティ
	2. 標準化
情報化と経営	1. 情報戦略
	2. 企業会計
	3. 経営工学
	4. 情報システムの活用
	5. 関連法規

3. 上級シスアド試験の出題範囲は？

(2) 午後試験

業務システム改善企画の立案に関すること

業務体系の把握、業務内容の調査・分析、情報技術を活用した業務改革・改善、業務システム改善の企画、業務システム改善案の費用対効果分析・優先順位付け・事後評価、情報システムの企画・提案・実現・評価 など

情報システム構築のためのマネジメントに関すること

機能・性能要求の設定、安全性・信頼性・障害対策要求の設定、運用・保守要求の設定、ソフトウェアパッケージの選定、ヒューマンインタフェースの設計・開発、システム企画・システム設計・運用計画のレビュー、テスト基準・テスト手順の作成、テストの実施と評価、検収 など

情報システム利用のためのマネジメントに関すること

システム利用の促進、情報化推進のための教育体制、教育メニューの立案、情報化推進のための組織・体制の立案、業務マニュアル・運用マニュアルの整備・オンライン化、データの活用、システム運用・情報システムの状況把握、セキュリティ対策、知的所有権 など

4. そんな上級シスアドに受かった人って？

さて、続いては、

「彼を知り己を知らば、百戦して危うからず。」

上級シスアド試験に置きかえると、

済

彼 = 上級シスアド試験

己 = 自身の実力

さらに深く掘り下げると…

上級シスアドそのもの

上級シスアドをめざす根源的理由

今日のプログラムのスピーカーは皆、上級シスアドです。

言葉で伝わらない何かを感じ取っていただければと思います。

私が常々思うのは、会うと「知識」と「元気」をくれる方々だということです。

5. 自身の実力とは？

さてさて、どんどん行きましょう。

「彼を知り己を知らば、百戦して危うからず。」

上級シスアド試験に置きかえると、

済
彼 = 上級シスアド試験

済 深く掘り下げると…
上級シスアドそのもの

己 = 自身の実力

上級シスアドをめざす根源的理由

「自分のことは自分が一番分かっている」とはよく言いますが、
ここでいう「自身の実力」とは、“「上級シスアド試験」と照らしたときに、自分の実力は、
どの分野は足りていて、どの分野は不足しているのかを知っている”ということです。

その助けになるのは、

試験の概要(対象者像、役割と業務、期待する技術水準等)であり、過去の試験問題です。

6. 上級シスアドをめざす根源的理由を探りましょう。

最後にとっても重要なことを…。

「彼を知り己を知らば、百戦して危うからず。」

上級シスアド試験に置きかえると、

済	深く掘り下げると…
彼 = <u>上級シスアド試験</u>	<u>上級シスアドそのもの</u>
済	済
己 = <u>自身の実力</u>	<u>上級シスアドをめざす根源的理由</u>

チャレンジを成功させる鍵は、
自分の中で納得のいくモチベーションの根源を見つけ出すことです。

これは、人それぞれ異なります。
大切なのは、自分が納得した根源であることです。
それを見つけ出し、それを拠り所にし、モチベーションを維持して、
合格めざして突き進んでください。

7. おまけ

あなたが上級シスアドをめざす根源的理由の参考になれば幸いです。

上級シスアドの対象者像って、今まさに必要な人材像ですよ。

対象者像

利用者側において、業務の中でどのように情報技術を活用すべきかについて判断するために必要な知識・技能をもち、情報化リーダーとして業務改革・改善を推進する者

「情報システムを利用するのはユーザーです」

「情報システムを使えるものにするにはユーザー側の視点が不可欠です」

「もちろん、情報技術の知識も必要です」

「それらを満たすのが、上級シスアドです」

試験勉強を通じて、必要な知識を体系的に学べます。

(経験豊かな人の場合) **整理**できます。

情報処理技術者試験センターはこんなキャッチコピーを使っています。

「技術がある」と口で言うだけじゃわからない。

最終ページ